

# “ぐんま発”のオープンイノベーションのプラットフォーム

入会・会費  
無 料

## 会員募集中

[https://www.pref.gunma.jp/06/cz01\\_00006.html](https://www.pref.gunma.jp/06/cz01_00006.html)

※事業内容により、参加会員から  
応分の負担を求める場合があります



※画像はイメージです

群馬から「新たな価値」・「イノベーション」を創出するための  
未来を見据えた異業種連携のプラットフォームです

デジタルの力で様々な領域での最先端ソリューションを開発・事業化

VIRTUAL

交通・物流

医療・ヘルスケア

### LAB実施事業（イメージ）

#### 新事業創出に向けた各種プロジェクトを推進します！

- ・事業具体化のためのアイデアソン開催
- ・専門家によるハンズオン支援
- ・ビジネスモデルの構築支援
- ・外部資金獲得支援

#### ビジネスパートナーとのマッチングに取り組めます！

- ・「大学等が持つ研究シーズ、地域や業界が有する課題」と「企業等が持つソリューション」のマッチング

#### イノベーション創出に向けたネットワークを構築します！

- ・デジタル技術や製品開発に関するセミナー、研修事業の実施
- ・新事業創出に向けたワークショップの開催

#### 各種情報を県内外へ発信します！

- ・LAB参画企業のニーズ・ソリューション等を発信

### 会 員 要 件（企業・団体・個人）

- ① LABの事業及び活動に賛同し、群馬県内に拠点（本店、支店、事業所、研究所等）を有する企業（個人事業主含む）、地方公共団体、経済団体、大学、研究機関、産業支援機関、金融機関及びその他の組織等
- ② ①と協業を希望する県外の企業、団体、組織等

問い合わせ先 群馬県産業経済部未来投資・デジタル産業課  
TEL 027-897-2792

## 最先端ソリューションの実証・事業化＜イメージ＞

未来への投資に向け、様々な領域において、最先端のテクノロジー、AI・ロボット等を活用したデジタルイノベーションを加速させる

### VIRTUAL

デジタル技術により創り出される仮想現実の世界。デジタル時代において新たな価値を提供する顧客体験型サービスなど、群馬県の産業や観光、医療、教育などの分野の高付加価値化に繋がるイノベーションを創出

- ・デジタルツイン上でのドライブシミュレーション
- ・工場における製造ラインの停滞予測
- ・メタバース上でのまちあるき・購買体験
- ・バーチャルホスピタル／クラスルーム

### 交通・物流

人口減少や高齢化、過疎化により顕在化する移動弱者の解消、人の移動や交通を取り巻く諸課題（事故・渋滞など）の解決、国際情勢の変化や有事にあっても機能を維持できる強靱なサプライチェーンの構築等に繋がるイノベーションを創出

- ・自動運転の実現に向けたインフラのスマート化
- ・空飛ぶクルマの実証
- ・ドローンを活用した生活用品の配送サービス
- ・無人トラックによる最短自動搬送システム

### 医療・ヘルスケア

高齢化社会に伴い医療費等の社会保障費が増加する中、医療・予防・介護・見守りなど、人々の健康な暮らしを維持するためのサービスや、医療や介護サービスの地域格差解消、従事者の負担軽減等に繋がるイノベーションを創出

- ・過疎地域での遠隔医療、遠隔服薬指導サービス
- ・AIを活用した病気の早期発見
- ・医療現場や福祉施設での自動走行搬送ロボット
- ・ウェアラブルデバイスを活用した見守り

### そ の 他

群馬県の持続可能な社会経済の構築に向け、既成概念に囚われない自由な発想とテクノロジーを組み合わせ、ぐんま発のイノベーションを創出

- ・スマート農業推進による高品質生産
- ・デジタルアート（NFT）を活用した観光振興
- ・災害レジリエンス強化（リアルタイムハザードマップシステムの構築等）

## 群馬県

## 新ぐんまチャレンジ支援金

群馬県では、コロナ禍において、ウクライナ侵攻による悪影響等を受ける県内事業者の原油価格・物価高騰等に対応する前向きな取組みを後押しするため、支援金を支給します。

## 1 支給対象

県内に本店又は主たる事業所を置く中小企業及び個人事業者であって、次の①～③のいずれにも該当する者。

- ① 令和4年4月・5月の原材料費・燃料費等の仕入金額・経費が、令和元年～3年のいずれかの同2ヶ月と比較して10%以上増加  
(主な経費の例：運送業→燃料費、飲食小売業→原材料費)
- ② 令和4年4月・5月の売上の合計が、令和元年～3年のいずれかの同2ヶ月と比較して10%以上減少
- ③ 次に掲げるいずれかの対象事業を令和4年4月以降に実施すること

## 2 対象事業

- ・省エネ対応機器・設備の導入など、原油価格・物価高騰を踏まえた取組み  
(例) ○ 事務所の照明をLED化  
○ 輸入小麦の商品を縮小し、県産米粉の商品に転換  
○ 空調設備を省エネタイプに転換 など経費削減につながる取組み
- ・新たな商品・サービスの開発や販売方法の転換などの新規性のある取組み  
(例) ○ 新たにテイクアウト販売を開始  
○ スマホ対応のホームページやインターネット販売を開始  
○ オンライン形式でヨガ教室のサービスを開始 など売上増加につながる取組み
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて行う取組み  
(例) ○ キャッシュレスシステムの導入  
○ 非接触型体温検知器を導入 など各業界団体のガイドラインに沿った取組み

## 3 支給額

- ・法人は40万円、個人事業者は20万円を上限に実費相当額を支給(1事業者1回のみ)
- ・支給額の下限は法人は20万円、個人事業者は10万円

## 4 申請方法等

- ・オンライン、郵送にて8月1日より申請受付開始
- ・詳細は、群馬県のホームページ(右記QRコード)をご覧ください





## ／ 小さな積み重ねが大きな省エネ効果に！ ／

暑い夏は、エネルギーの使用が増える季節です。  
オフィスでの、省エネへの具体的な取り組みをご紹介します。

### エアコン

- ☑ 執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げましょう。 **節電効果 約4%**  
※熱中症にご注意ください。
- ☑ 日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用しましょう。 **節電効果 約4%**
- ☑ 冷凍機の冷水出口温度を高めに設定し、ターボ冷凍機、ヒートポンプ等の動力を削減しましょう（セントラル式空調の場合）。 **節電効果 約2%**
- ☑ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、空調を停止しましょう。 **節電効果 約2%**



### 照明

- ☑ 可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きしましょう（節電効果は照明を半分程度間引きした際の数値）。 **節電効果 約13%**
- ☑ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、消灯しましょう。 **節電効果 約3%**



### OA機器（PC、コピー機）

- ☑ 長時間離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにしましょう。 **節電効果 約3%**



### その他 オフィスでは他にもこんな省エネ対策を行えます

#### 温水洗浄便座

使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にしたり、長期間使わないトイレはコンセント自体を抜いたりしましょう。



#### 電気ポット

温度設定を見直したり、省エネモードにするなど、設定を確認しましょう。使わないときには、電源をオフにしましょう。



「省エネ最適化診断」や「ビル／工場の省エネルギーガイドブック 2021」などを活用して省エネや節電等に関する取組を検討してみましょう。

shindan-net

検索



※「節電効果」は点灯帯（17時頃）の家庭の電力使用量に対する節電効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により節電効果は変動します。



経済産業省  
資源エネルギー庁

関連  
情報

無理のない省エネ節約  
（資源エネルギー庁）



省エネ・節電メニュー  
（資源エネルギー庁）



ビルの省エネルギーガイドブック 2021  
工場の省エネルギーガイドブック 2021  
（一般財団法人 省エネルギーセンター）



# 令和4年度 業務改善助成金 (通常コース)のご案内

『業務改善助成金(通常コース)』は、生産性を向上させ、「事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)」の引上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。

## 助成金の概要

事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、  
設備投資(機械設備、コンサルティング導入や人材育成・教育訓練)  
などを行った場合に、その費用の一部を助成します。

賃金引上げ



設備投資等

設備投資等に要した  
費用の一部を助成

詳しくはHPをご覧ください！



業務改善助成金

検索



## 概要

※申請期限：令和5年1月31日

| コース区分  | 引上げ額  | 引き上げる労働者数 | 助成上限額 | 助成対象事業場                                                       | 助成率                                                                                                                 |
|--------|-------|-----------|-------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 30円コース | 30円以上 | 1人        | 30万円  | 以下の2つの要件を満たす事業場<br>・事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差額が30円以内<br>・事業場規模100人以下 | 【事業場内最低賃金900円未満】(※2)<br>4/5<br>生産性要件を満たした場合は<br>9/10(※3)<br><br>【事業場内最低賃金900円以上】<br>3/4<br>生産性要件を満たした場合は<br>4/5(※3) |
|        |       | 2～3人      | 50万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 4～6人      | 70万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 7人以上      | 100万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 10人以上(※1) | 120万円 |                                                               |                                                                                                                     |
| 45円コース | 45円以上 | 1人        | 45万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 2～3人      | 70万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 4～6人      | 100万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 7人以上      | 150万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 10人以上(※1) | 180万円 |                                                               |                                                                                                                     |
| 60円コース | 60円以上 | 1人        | 60万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 2～3人      | 90万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 4～6人      | 150万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 7人以上      | 230万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 10人以上(※1) | 300万円 |                                                               |                                                                                                                     |
| 90円コース | 90円以上 | 1人        | 90万円  |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 2～3人      | 150万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 4～6人      | 270万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 7人以上      | 450万円 |                                                               |                                                                                                                     |
|        |       | 10人以上(※1) | 600万円 |                                                               |                                                                                                                     |

(※1) 10人以上の上限額区分は、以下の①又は②のいずれかに該当する事業場が対象となります。

①賃金要件：事業場内最低賃金900円未満の事業場

②生産量要件：売上高や生産量などの事業活動を示す指標の直近3ヶ月間の月平均値が前年又は前々年の同じ月に比べて、30%以上減少している事業者

(※2) 対象は地域別最低賃金900円未満の地域のうち、事業場内最低賃金が900円未満の事業場です。(令和4年4月現在)

(※3) ここでいう「生産性」とは、企業の決算書類から算出した、労働者1人当たりの付加価値を指します。

助成金の支給申請時の直近の決算書類に基づく生産性と、その3年度前の決算書類に基づく生産性を比較し、伸び率が一定水準を超えている場合等に、加算して支給されます。

○ 助成金受給の流れや申請先等については次頁をご覧ください。

## 助成金支給までの流れ

交付申請書・事業実施計画などを、  
最寄りの都道府県労働局に提出

審査

交付決定後、  
提出した計画に  
沿って事業実施

労働局に  
事業実施結果  
を報告

審査

支給

## ご留意頂きたい事項

- ◆ 過年度に業務改善助成金を活用した事業場も、助成対象となります。
- ◆ 予算の範囲内で交付するため、申請期間内に募集を終了する場合があります。
- ◆ 事業完了の期限は令和5年3月31日です。

## お問い合わせ先

- ◆ 「業務改善助成金コールセンター」まで、お気軽にお問い合わせください。

電話番号 0120-366-440 （受付時間 平日8:30～17:15）

## 申請先

- ◆ 助成金の申請窓口は、都道府県労働局です。事業場がある地域の労働局にお問い合わせください。  
【担当部署】各労働局雇用環境・均等部（室）

## 働き方改革推進支援資金

- ◆ 日本政策金融公庫では、事業場内最低賃金の引上げに取り組む者に対して、設備資金や  
運転資金の融資を行っています。

詳しくは、事業場がある都道府県の日本政策金融公庫の窓口にお問い合わせください。

【担当部署】各都道府県日本政策金融公庫



## ～ 業務改善助成金の活用事例 ～

**事例1** デリバリー拡充のためのコンサルティングと必要なシステム・  
機材を導入して売上を拡大

【企業概要】 【所在地】愛知県 【従業員数】5人 【事業内容】飲食業

**課題と対応**  
店内飲食が減少していたため、コンサルティングと設備投資により、販売増と業務効率化を検討した。

**実施概要**  
デリバリー販売を拡大し、揚げ物を短時間で大量に調理することで、多くの注文を受けて処理したいと考えた。そこで、助成金を活用して、デリバリーサイトへの掲載内容についてコンサルティングを受け、受注システム、配達用3輪バイク、二層フライヤーを導入した。

デリバリーの注文数を増やし、効率的に処理することでコロナ禍を乗り切りたい（総務担当者）

**<導入前>** **<導入後>** **さらなる工夫**

従業員が創作した料理を持ち寄って新メニューの検討をすることで、時流に沿った商品提供をしている。

デリバリー客が大増し、配達や調理の時間も短縮された。

**実施結果**  
コンサルティングを受けてデリバリーサイトへの掲載と受注システムの導入をすることで、電話対応がなくなり配達エリアや配達住所の管理が正確に行えるようになった。また、3輪バイクの導入で配達時間が1日1.5時間削減され、二層フライヤーの導入で6件の注文を一度に調理することができるようになった。

**成果**  
デリバリーの注文受付から配達までの工程と、揚げ物調理の効率化により生産性が向上し、1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を100円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。

**事例7** 理容店専用の業務管理システムを導入し、経営情報を一元管理して業務効率化

【企業概要】 【所在地】京都府 【従業員数】2人 【事業内容】理容業

**課題と対応**  
会計を手作業で行っており、時間がかかり、ミスもあった。また、顧客管理や在庫管理を紙で行っていたので、探す手間がかかっていた。そのため、設備投資による業務効率化を検討した。

**実施概要**  
会計の手作業の負担や会計ミス、レジ待ち時間も減らしたいと考えた。また、予約対応や顧客情報、在庫情報、売上情報も効率的に一元管理したいと考えた。そこで、助成金を活用して理容店専用の業務システムを導入した。

日々の精算処理を効率化し、経営情報を一元管理したい（代表者）

**<導入前>** **<導入後>** **さらなる工夫**

売上データや来店予測機能を顧客拡大に活用することができるようになった。

予約対応の時間が減って接客時間が増え、顧客満足度が向上

**実施結果**  
業務管理システムを導入することで、予約対応に係る時間が1日あたり10%程度短縮、また在庫管理や精算処理に係る時間が半減し、接客対応にかけられる時間を増やすことができた。

**成果**  
機器の導入により生産性が向上し1人の従業員の時間給（事業場内最低賃金）を61円引き上げた。さらに、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げを実施した。